

守ろう! 楽しもう!

瀬戸内海 “八木灘” の自然と歴史・文化



大崎上島町 ホテル清風館からの風光

2021.2/18 (木) 13:00-15:00

スモール瀬戸内海・八木灘の“離島”を中心としたエコツーリズムによる地域活性化プラン

“八木灘”の自然と歴史を知るフォーラム

開催
場所

 YouTube Live

<https://youtu.be/7MfG3mawC44>



主催

(一社) 瀬戸内海エコツーリズム協議会

共催

大崎上島町観光協会/ (一社) 竹原市観光協会
安芸津町観光協会/ (一社) 呉観光協会/安浦町観光協会

協力

大崎上島町/ 竹原市/東広島市/呉市

※このフォーラムは、観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成に向けた実証調査」事業の一環です。

趣 旨

当協議会は、2010年の創立以来この10年間、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念としたエコツーリズムの推進を通して、自然環境の保全、地域コミュニティの振興、新たな観光ビジネスの振興を目的としてきました。

瀬戸内海は、豊かな漁場環境を有し、自然景観や文化歴史が育まれてきました。しかし、高度成長期以降、現在に至るまで、漁業や農業の衰退や特に“離島”人口の減少・高齢化・過疎化が進んでいます。更に、withコロナ期においては、都市部からの旅行者も激減し、経済活動にも支障をきたし始めています。

そこで、今回のフォーラムでは、広大な瀬戸内海のスモールスケール版として”八木灘”と呼ばれる海域（呉市のとびしま海道及び“離島”の大崎上島、本土側の川尻町～安浦町～東広島市安芸津町～竹原市の海岸線に囲まれた瀬戸内海西部の海域）に着目し、同地域の既存の自然・文化・産業・歴史・地産といった観光資源を、エコツーリズムの視点から掘り起こし、八木灘沿岸を“離島”にフォーカスしたコンセプトで繋ぎつつ、多様で持続可能な観光資源について、全国的に認知度を向上させるために情報発信を行います。

場 所

Web開催による登壇者及び観光協会のセッション、YouTube Live同時配信

プログラム概要

- はじめに（総合司会）：フリーアナウンサー 中井 佳絵
- 挨拶(10’) 土井 誠氏：観光庁 誘客多角化等実証調査事務局 中国支部コーチ
観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」事業について
- 報告(35’) 上嶋 英機：（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会 理事長
“スモール瀬戸内海・八木灘の”離島“を中心としたエコツーリズムによる地域活性化プラン”
- 講演(35’) 加藤 久美：和歌山大学観光学部観光学科 教授
“サステナブルな地域づくりの観光“
- 紹介(各5’ 計20’) 大崎上島町・竹原市・安芸津町・呉市 各観光協会
“地域の観光資源の紹介とこれからのつながり“
- セッション(20’) 上嶋理事長・加藤教授・各観光協会
“八木灘地域における持続可能なエコツーリズムについて”



上嶋 英機 広島工業大学 客員教授、（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会 理事長

工学博士。1972年、通商産業省工業技術院の国立研究所に入所以来、瀬戸内海の環境研究に従事。2005年より広島工業大学大学院教授就任。2010年、一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会理事長に就任。宮島エコツーリズム推進協議会会長も兼務。



加藤 久美 和歌山大学観光学部/武蔵野大学しあわせ研究所 教授

クイーンズランド大学（PhD）。主な研究分野は、観光とサステナビリティ、コミュニティレジリエンス、環境倫理など。観光庁が策定した“日本版 持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)”検討委員会の座長をつとめる。

一般社団法人
瀬戸内海エコツーリズム協議会
設立10年さらなる充実を目指し
会員募集中

会 員

正会員	法人20,000円（個人5,000円）
賛助会員	法人10,000円（個人2,000円）

お問い合わせ

一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会

担当：田中/富田/中谷

〒734-0013 広島県広島市南区出島1-11-14

☎082-259-3371 📠082-259-3372

<https://setoecokyo.jimdofree.com/>

